

校内研だより



令和4年7月1日(金)
研究推進部
No.10

1 第4回校内研究会（研究授業②）

(1) 日時 7月5日(火) 13:35~16:00

(2) 研究会場 MR

(3) 単元名 生活単元学習「くらしをささえる水」

(4) 当日の進行

13:35 研究授業 梅の実プレイルーム 授業者 志村 淳一 主任教諭

授業記録（全体） : (分科会)

授業記録（抽出児） : (分科会)、(分科会)

カメラ記録 : 永山

14:40 研究協議会 司会: 崎浜 協議会記録: (分科会)

・挨拶、講師紹介: 校長

・分科会提案: 川戸

・自評: 志村

・協議

ジャムボードを使いながら、それぞれに出た視点ごとに協議をお願いします。

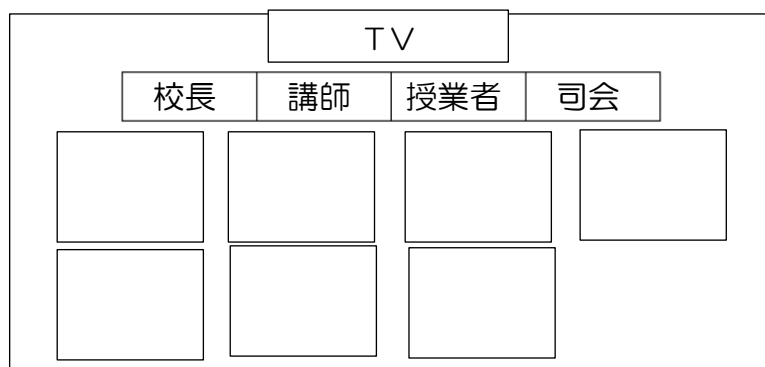
良かった点、課題・改善点、疑問点、質問など

15:20 指導講評

講師 石橋 昌雄先生 (元・全国小学校社会科研究協議会会長、立正大学社会福祉学部 子ども教育福祉学科教授)

16:00 謝辞 副校長

(5) 会場図 (MR) ※協議会は、児童の机で行う。



当日、席替えします。
お楽しみに！

(6) 参観の視点

- ・個別最適な学びの活動が適切だったか。
- ・教材は見通しをもたせるのに有効だったか。
- ・知識を押さえた上で、思考させる学習展開について。

☆単元全体の見通しをどれだけもてるか、チャレンジです！

(7) 事前検討

6/22(水) 校内研 梅の実「くらしをまごえる水」 ①見直しをさせる展開? ②その他気になること

＜やること＞
授業について
話し合い
校長から

② *自地図 拡大
東京都の
地形を思い出す

小河内ダムはどこにあるだろう?

課題を調べる

*クイズブック 副読本

①全体で考
②個別考
③自分の方法で調
④交流

⑤個別最適
⑥

↓
課題解決

立体地形図で検証

＜質問＞
水はどのようになたしたうちの
ところに、届くのだろう?

～石橋先生から～
・児童の実能
→個別の特性による
役割を定める(個別最適化)

～話し合い～
・めあてまでの流れ
④ 水の話→ダムの話→ダムはどこにある?
映像など→水はどこから?
めあて(問い)を展開に合わせる
写真(東京タワーなど)→ダムの写真→?

・見直しをさせる
→何で水の?
・立体地形図は大丈夫?
→何種類の提示(⑤)か選択
④ 矢印で示す。→
・地図の溝をける砂場(壁?)
録画しておく

2 その他

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆パーパレス活動にご協力をお願いします。

☆ 5日(火) 研究授業(梅の実) **研究だより**⑩

☆ 19日(火) B部会(今後の予定、夏にやること)

3 指導案

特別支援学級 生活単元学習 学習指導案

日時 令和4年7月5日(火)
(5校時 13:35~14:20)
対象 梅の実学級(3~6年生)
授業者 T1 志村 淳一
T2 中原 ゆき
介助員 橋本 真紀
介助員 池森 由紀
場所 ミーティングルーム

1 小単元名 暮らしをささえる水

2 小単元の目標

生活に使われている水に関心をもち、水の確保に関わる仕組みや経路について追究する活動を通して、これらが人々の暮らしに役立っていることを考え、理解するとともに、水を大切にしていこうとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水が供給される仕組みや経路を調べ、それらは安全で安定的に供給できるように進められていることを理解している。	地域に届けられる供給の仕組みや経路をとらえ、それらの果たす役割を考え、表現している。	① 課題の解決に向けて、自分に合った方法で課題を追究し、解決しようとしている、 ② 水を大切にしていこうとする意識を高めようとしている。

4 研究内容との関連

(1) 教材の工夫

つかむ段階では、立体地形図を使用し、小河内ダムから色水を流し、空間的に位置関係や仕組みをつかませるとともに、そこから新たな問いが生まれるようにして、学習問題へとつながられるようにする。

(2) 主体的に問いを追究する工夫

昨年度、総合的な学習の時間「エコキャップの旅」の学習から、疑問をもつこと、自分の方法で調べ解決すること、そこから新たに生まれる疑問に気付くこと、それを解決すること、という学習の流れを取り入れてきた。本小単元でも、疑問をもち自分に合った方法で解決できるような学習の展開を行う。

(3) 教師の願い

☆課題の解決方法を知り、自分に合った方法で課題を解決できる力を身に付けてほしい。

☆知識や体験、既習事項(東京都の地形)を基に考える力を身に付けてほしい。

☆水の経路(循環)、水道施設の役割、働く人の工夫や努力について、体験をとおして調べたり、学んだりしていくことで、目に見えない水の経路を具体的にイメージし、位置が関係していること、私たちの暮らす地域が様々な地域とつながっていること、多くの人たちが関わって、私たちの生活が成り立っていることを実感してほしい。

☆水は限りある資源であることに気付くことで、水を大切にしようとする意識をもち、自分たちの、水とのかかわり方を選択・判断できるようになってほしい。

(4) 生活単元学習について

本小単元は、小学校社会科学習指導要領と、次に示す、特別支援学校学習指導要における、生活単元の特徴と留意点に基づき構成した。特に.....部分を重視している。

「生活単元学習の特徴と留意点」

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

<留意点>

- (ア) 単元は、実際の生活から発展し、児童生徒の知的障害の状態や生活年齢等及び興味や関心を踏まえたものであり、個人差の大きい集団に適合するものであること。
- (イ) 単元は、必要な知識や技能の習得とともに、思考力、判断力、表現力や学びに向かう力、人間性等の育成を図るものであり、生活上の望ましい態度や習慣が形成され、身に付けた指導内容が現在や将来の生活に生かされるようにすること。
- (ウ) 単元は、児童生徒が指導目標への意識や期待をもち、見通しをもって、単元の活動に意欲的に取り組むものであり、目標意識や課題意識、課題の解決への意欲等を育む活動を含んだものであること。
- (エ) 単元は、一人一人の児童生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、学習活動の中で様々な役割を担い、集団全体で単元の活動に協働して取り組めるものであること。
- (オ) 単元は、各単元における児童生徒の指導目標を達成するための課題の解決に必要なかつ十分な活動で組織され、その一連の単元の活動は、児童生徒の自然な生活としてのまとまりのあるものであること。
- (カ) 単元は、各教科に係る見方・考え方を生かしたり、働かせたりすることのできる内容を含む活動で組織され、児童生徒がいろいろな単元を通して、多種多様な意義のある経験ができるよう計画されていること。

『特別支援学校学習指導要領解説』より抜粋

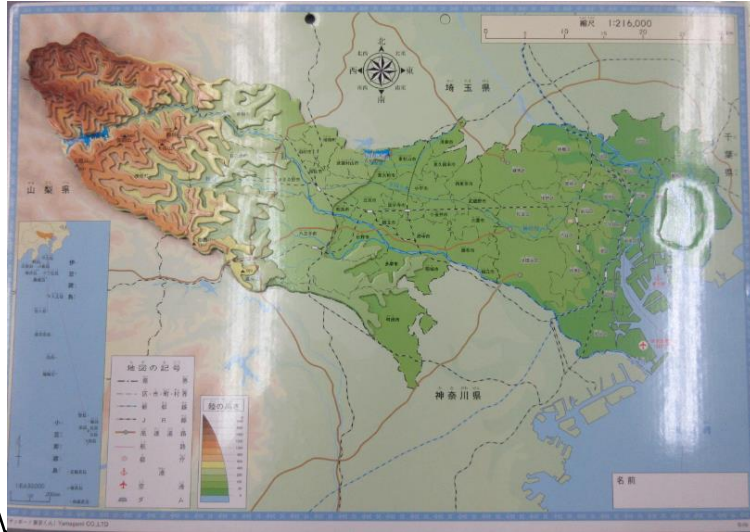
5 本実践の教材のウリ
立体地形図「ヤッホー！東京くん」

子供が触いた
くなる

地図帳やICT 機器
にはない迫力！

1枚 450円
(程度)

組み
立て式



東京都の
形が一目
で分かる！

小河内ダムが高い場所に
あることが、分かりやすい

主要な川の流
れが分かる

陸の高さが色別されてい
て、高低差が分かりやすい。

6 小単元の指導計画 (全 1 1 時間)

過程	ねらい	主な学習活動 (○) 評価につながる学習活動 (●) 問い、本時の課題 (◆) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 【評価】 □指導上の留意点
つかむ	自分たちの生活の中で、いろいろな場面で水が使われていることを理解する。①	◆水はいつ、どこで、どんな時に使うのだろう。 ○自分の生活の中で、水を使う場面を考える。 ○学校生活の中で、水を使う場面を考え、実際にその場を訪れる。	◎資料 【評価】 □指導上の留意点 ◎写真 ◎校内の風呂など 【態①】自分の方法で課題を解決しようとする。(観察)
	水が届くまでの経路や施設についての見通しをもち、これから自分たちで主体的に調べていこうとする。(②本時)	◆小河内ダムは、どこにあるのだろう。 ○小河内ダムの場所を調べる。 ・海が近いから東側じゃないかな。 ・真ん中にある方が便利だよ。 ・水が運ばれるから高地の西側じゃないかな。 ○ダムの場所から学習問題をつくる。 水は、どのようにわたしたちのところに届くのだろう。	◎立体地形図 ◎白地図 ◎クロムブック ◎水道局資料 【態①】自分の方法で課題を解決しようとしている。(観察)
調べる	水が届くまでの経路を理解する。③④	◆水はどのように運ばれてくるのだろう。 ○調べる計画を立てる。 ○水道の蛇口から水源林の経路を調べ、水源林の確保のために、たくさんの施設があり、広く他県ともつながっていることを理解する。	◎クロムブック ◎わたしたちの東京都 ◎動画 【知技】飲料水が供給されるしくみや経路を知る。(観察)

	水源林やダムを守る人々の仕事について理解する。⑤	◆水源林やダムはどのように守られているのだろう。 ○水源林やダムとそれらを守る人々の仕事について調べ、そこで働く人々の工夫や努力について考える。	◎わたしたちの東京都 ◎動画 【思判表】供給のしくみや経路の果たす役割を考えている。 (発言、観察)
	浄水場の見学⑥⑦	◆浄水場にはどのような役割があるのだろう。 ○浄水場で川の水がどのようにして飲料水になるのかを調べ、浄水場の役割について考える。	【知技】水が供給される仕組みや経路を調べ、それらは安全で安定的に供給できるように進められていることを理解している。(見学・観察)
まとめ	学習したことを整理し、学習問題に対する答えをまとめる。⑧	◆学習問題の答えを出そう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが使っている水は、他の県の水源林に降った雨水をダムに貯めて、浄水場できれいにしてから、届けられる。 ・それぞれの施設で働く人々の工夫や努力によって水が届き、私たちは生活することができる。 </div>	【知技】【思判表】供給のしくみや経路、役割が、説明できたり答えられたりできる。(観察、発言)
つなぐ	くらしの中で使う水について理解する。⑨	◆生活の中ではどのような場面で、どれくらいの水が使われるのだろう。 ○くらしの中で使う水について調べ、自分の生活と水についての関わりについて考える。	◎わたしたちの東京都 ◎西プレイルームの風呂、シャワー 【態①】自分の方法で課題を解決しようとしている。(観察)
	学校での水の使われ方を理解する。⑩⑪	◆学校の中では、どれくらいの水が使われるのだろう。 ○学校の蛇口調べなどから、自分たちの生活には、大量の飲料水が使用されていることを理解する。	【態①】自分の方法で課題を解決しようとしている。(観察)
	水の大切さについて考える。⑫	◆わたしたちは、生活する中でどのように水と関わればよいのだろう。 ○学習したことをまとめ、自分たちが水についてどのように関わろうとするかを考える。	【態②】水を大切にしようとする意識をもとうとしている。(観察)

7 本時の学習

(1) 本時のねらい

○水が届くまでの経路や施設についての見通しをもち、これから自分たちで主体的に調べていこうとする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	◎資料 【評価】 □指導上の留意点
導入	<p>○前時の学習を振り返る。 T「水はどのような場所で使われていましたか。」 C1「お風呂」 C2「プール」 C3「トイレ」</p> <p>○問いにつながる知識を押さえる。 T「蛇口をひねって出る水はどこからくるでしょう。」 C1「海」 C2「川」 C3「井戸」 C4「ダム」</p> <p>○小河口ダムの写真を提示する。 T「水の旅のスタートはここです。」 T「知っている人はいますか。」 C「ダムです。」 C「水を貯める施設です。」 T「写真を見て気付いたことはありますか。」 C1「水がたくさんある。」 C2「大きい。」 C3「広い。」 T「ここに水が貯められ、水が届きます。」</p> <p>○本時の問いを提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 小河口ダムは、どこにあるのだろう。 </div>	<p>□ダムについて知っている児童に、役割を説明させる。</p>
展開	<p>○既習事項や生活経験を振り返る。 T「勉強したことや、行ったことがある場所を思い出しましょう。」 C1「お台場に行った。東は海だった。」 C2「浅草も東だったな。」 C3「西は山があった。」</p> <p>○課題を調べる。 ① 個人で考える。 C1「真ん中にある方が便利だよ。」 C2「高いところから低いところに流れるから、西側じゃないかな。」 C3「海の近くかも、東の方じゃないかな。」 ②全体で考えを交流し、再度考える。 ③自分の方法で調べる。</p> <p>○課題を解決する。</p> <p>○立体地形図で小河口ダムから色水を流し検証する。 C1「あれ、全域に水が届いてないよ。」</p> <p>○学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習問題 水は、どのようにわたしたちのところに届くのだろう。 </div>	<p>◎白地図の拡大 □東京都の地形の特徴を押さえ、考えの根拠とさせる。</p> <p>◎立体地形図「ヤッホーくん」 ◎クロムブック ◎わたしたちの東京都 ◎わたしたちの東京都の音読を聞かせる。</p> <p>□自分で解決方法を選択させる。 □調べ方や図の読み方、資料の共有など、児童同士で交流できるようにする。</p> <p>□自力解決が難しい児童には、他の児童が自分の資料から説明して教えるようにする。</p> <p>【知態①】水が届くまでの経路や施設についての見通しをもち、これから自分たちで主体的に調べていこうとしている。(観察)</p>
週末	○次時の見通しをもち。	

(3) 本時の板書計画

7 / 5 暮らしをささえる水

小河内ダムは、どこにあるだろう。

小河内ダムの
写真

ダム…水を貯める施設

貯めた水が流れて届く

東京都の白地図
(児童の予想や考え、理由
を書き込む)

全域に水が届かない・・・

水は、どのようにわたしたちのところに届くのだろう。